

旅立ちのレインボー

キラキラと光る さざ波のリズム
よそく風の奏でる メロディーが
白いチャペル 二人包む

まったく同じ内容なのに
"ふかいあの頃"と
"若かりし頃"という
謎の言い換え。

ああ幼い あの頃の
笑顔がよみがえる

"ほら" "空"と来たなら
韻を踏むべき。

見上げてみて ほら
広く青い 空
虹を描き そう
未来夢見て 手を繋ぎ

ここにだけ"君"が出てくる。
誰のこと？

若かりし頃を 懐かしむように
そっと見守る木漏れ日 ほほ笑む君
ありがとう そつと言うよ

誰から誰に

手づまり感。

ああ雨の日 風の日も
明日が見えない日も

"雨の日"と"風の日"と"明日の見えない日"は
並列の関係にある言葉ではない。重なり意味が違う。

ひとりじゃない そう
つまづいても でも
歩いてきた そう
いつも支えて くれたから

"ても"と"でも"が音として近すぎて聞きにくい。

見上げてみて ほら
道を照らす 星
導かれて そう
思いやること 忘れずに

いかにも歌詞っぽい

昇る朝日 ほら
生まれたての 朝
旅は続く そう
いつも心に 太陽を

展開が急。思いやるの語は初耳。